

十五夜の祭りさまざまな催しで

富野猿賀神社で例大祭

五穀豊穡や無病息災、家内安全などを祈願する恒例の例大祭が、9月29日(土)〜30日(日)の2日間、富野猿賀神社で行われ、さまざまな催しで参拝客を楽しませました。

この例大祭は、毎年旧暦の8月15日に行われる地域の伝統行事で、ちようどの頃収穫される米を住民が供え、五穀豊穡などを祈願するお祭りです。

保存会が中心になって運営されることもあり、さまざまなイベントを行うことでも知ら

れ、住民はその催しを楽しみに境内へ集まります。

今年もグラウンド・ゴルフ大会、十五夜踊り、登山囃子演奏会、小学生の相撲大会、健康ダンス「べえ子ちゃん」のダンス、よさこい「夢幻天舞」の演舞といった多くの催しが

繰り広げられていました。

そして、何といつてもこの祭りでは欠かせないのが「仮装盆踊り大会」。15チーム75人の参加者が、東京スカイツリーや日本昔話などといったものをテーマに、色とりどりの衣装を身にまとって、約2時間わたって十五夜の夜を踊り明かしました。



【恒例の仮装盆踊り大会】



【小学校対抗相撲大会】

地域の交通安全願って練り歩く

武田小が交通安全パレード

地区の交通安全を祈って行われるパレードが、10月2日(火)武田地区各地で行われ、武田小の児童と保護者、関係者合わせて約120人が参加しました。

このパレードは、富野猿賀神社の例大祭に合わせて毎年行われていますが、今年は雨の影響でこの日の開催になりました。

バトントワリングや鼓笛、風船を持った児童などと保護者が一緒に地域を練り歩き、一行は交通安全を呼びかけていました。



ふるさとの特色実地で学ぶ

小泊中が
「ふるさと何でも学習」



ふるさとへの理解を深め、地域の特色を知ってもらおうと9月26日(水)、小泊中が「ふるさと何でも学習」を行い、1年生の生徒20人が小泊地域の漁業について学びました。

この学習は、小泊漁協が生徒たちを

受け入れて実現。まず小泊漁港に行つて、漁港の機能や仕事ぶりを見学しました。ちょうどマグロの獲れる時期とあつて、漁港には次々とマグロ延縄漁船が到着。水揚げされるマグロを計量し、箱詰めされる様子を見て、生徒たちは熱心にメモを取りながら、ときおり漁協職員に質問を投げかけていました。

中学校に帰ると、今度はシーフードカレーの調理方法を学びます。同漁協婦人部の5人が、5班に分かれた生徒たちに1人ずつ付き、野菜の皮むきから、炒め、煮込みまで、みっちりと教えました。

そのおかげもあつて、予定どおり全チームがシーフードカレーを完成させ、一緒に試食。生徒たちは「おいしい、おいしい」とお代わりを連発し、満足そうでした。

総合的な学習の一環として行われたこの学習の成果は、今後の授業の中で、研究・発表の題材として活かされるそうです。

パレード・活動でシルバーの力PR

全国一斉
「シルバーの日」

10月17日(水)、全国一斉の「シルバーの日」にちなみ、町内で交通安全パレードと清掃奉仕活動が行われ、関係者約150人が参加しました。

「シルバーの日」は、シルバー人材センターの社会的意義をPRするために全国一斉に設定されている日で、毎年、会員たちが地域への奉仕活動を行っています。

この日は、中里幼稚園鼓笛隊と一緒に津軽中里駅前までパレードしながら交通安全を訴え、そのあと、空き缶・ごみ拾いやカーブミラー拭きなどを行いました。

活動を終えた一行は、県警OBで交通安全教育技能指導官の小向千鶴子氏による「ワクワクに生きる」と題した講話を聞きました。「笑顔で元気いっぱいに生きることができると、健康や交通安全があつてこそ」とのお話に、参加者はうなずきながら聞き入っていました。



町給食センター、今学校歯科医努力と功績認められる



【町学校給食センター】

10月17日(水)青森市で、県の学校保健・安全・給食関係の表彰式が行われ、町から学校給食センターと、学校歯科医の今氏が表彰されました。

給食センターは、学校での食の指導や、生産者と連携した地産地消への取り組み、ドライシステムによる徹底した衛生管理が認められ、県教委から表彰を受けました。山内所長は「職員や調理員、運転

手、地域の皆さんと一緒に努力した結果。これからも、センターの目標である安全・安心で夢のある給食を届けたい」と喜びを話していました。

一方、今継逸氏は、昭和57年に自身の歯科医院を開業してから学校歯科医を務め、県学校保健会からその功績を認められての表彰になります。今氏は「受賞できて光栄。これからも以前と変わらず、学校歯科医としての職務を務めていきたい」と受賞の感想を述べました。



【学校歯科医の今継逸氏】

表彰・顕彰で喜びの報

給食センター・今学校歯科医
88歳夫婦到達者

夫婦で歩んだ米寿顕彰 88歳到達夫婦2組

このほど、夫婦そろって88歳を迎えられた町内2夫婦に対し、県知事からの顕彰状が届き、10月19日(金)に町長がそれぞれ手渡ししました。県のシニアフェスティバル開



【木村卯三郎・キユさん夫妻】

催に当たって顕彰されたもので、今年度受けたのは、木村卯三郎・キユさん夫妻(上高根)と、大西鉄雄・きやさん夫妻(新町2)です。町長の伝達では、ともに笑顔で受け取った両夫妻。2人ですと照れながらも、夫婦で喜びをかみしめているようでした。



【大西鉄雄・きやさん夫妻】